

特別養護老人ホーム いこいの杜

1 基本方針

- 入居者が、楽しく生き生きと安心して過ごすことが出来る環境作りに努める。
- よりよいサービスを提供するために、専門職としての倫理と誇りを持ち、技能の研鑽に努める。
- 入居者、家族、地域住民との連携を強め、地域に開かれた信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 多職種協働によるチームケアの充実

- ア 認知症ケア……パーソンセンタードケア理念の基、認知症の人の尊厳を守り、身体的要因、心理的要因、認知症中核症状等ステージにあわせ多角的に情報整理・分析・リフレーミングし、個々の思い（心）に沿ったポジティブ心理的ケアの実践を目指す。
- イ 口腔嚥下機能……食を介し、健康な身体や生活の豊かさ（質）、癒やしを感じる瞬間として、オーラルフレイル予防を目指し、口腔リハビリテーション（口腔体操・口腔マッサージなど）、かみかみ（歯・歯茎）もぐもぐ（舌の動き・唾液）ごっくん（嚥下）に重点を置いた嚥下機能維持向上に取り組む。
- ウ 事故防止……日常生活スタイル、クオリティーインプルーブメントにより、アクシデント発生前に気づくことの重要性に焦点をあてた考え方の取り組みを実施しつつ、知識、経験、観察などあらゆる情報を基にアクシデントの本質を認識した予防策を講じ3A「安全・安心・安息」な生活環境に繋げる。
- エ 身体的拘束適正化・虐待防止……入居者の人権・権利擁護・身体的拘束の適正化・虐待防止の意識強化に向けて、各種研修の実施、虐待の芽を検知する定期的な自己点検の実施、相談しやすいチーム作りに取り組み、尊厳ある介護をあたり前の共通認識とした環境作りを行い良質なサービスの提供を行う。
- オ 医療的ケア……多職種連携のもと、入居者の重度化に対応した安心・安全な医療的ケアを提供する。
- カ エンド・オブ・ライフ・ケア……その人らしいQOLの継続、常に家族の意向（心配・安心）を確認し、家族と共に情報共有し人生のエンドポイントとしての尊厳あるケアに努める。
- キ 自立支援……個々の意向、自立度、機能維持を考慮した生活リハビリ、褥瘡予防・拘縮の悪化防止など根拠に基づいたケアをもとに福祉用具の安全かつ適切な使用の促進を図り、その人らしい活動支援に努める。

(2) 経営改善・基盤の確立

- ア 入所稼働率96%を確保する。
- イ 各災害に応じた体制整備、BCPの見直し、各種訓練（火災・地震避難訓練、不審者対応訓練、炊き出し訓練）等の継続を図り緊急非常時の備えに努める。
- ウ 感染症流行情報をもとに、標準感染予防策の強化を図り感染症の予防及びBCPに沿った訓練を実施しまん延防止に努める。

(3) 職員の資質向上と人材育成

- ア 職員の専門性、資質向上を図るため、社会福祉士1名、介護福祉士2名、介護支援専門員1名、ユニットリーダー3名以上の資格取得を目指す。
- イ 支援技術の向上、個々の研修計画、習熟度により幅広い研修受講形態を活用した専門研修等を受講し人材育成を図る。

(4) 地域との連携・交流の促進

- ア ボランティア、地域住民、近隣地域独居高齢者、各種学校等との交流を促進し地域福祉の推進を図る。

(5) 労働環境の整備

- ア ICTの効果的な活用など先進的な福祉用具の研究を図り、環境面、健康面、精神面など労務負担の軽減に取り組む。また、労働時間の管理、業務の効率化、業務負担の軽減、時間外勤務の軽減に努める。
- イ 精神的疲労やストレス、ハラスメントなど早期発見、サポート、相談しやすい職場の風土作りの働きかけや集団ストレスチェック結果をもとに課題点の分析・改善に努める。